
2017年3月期
決算プレゼンテーション資料



アコム株式会社

<https://www.acom.co.jp/corp/ir/>

2017年5月10日



目次

2017年3月期決算の概要

1. 経営環境	3	13. 貸倒関連費用	15
2. 個人向けカードローン市場の規模推移	4	14. 金融費用	16
3. 決算概要	5	15. 2018年3月期 通期計画	17
4. セグメント別構成比	6	16. 配当方針、配当予想	18
5. ローン・クレジットカード事業の概況(アコム)	7		
6. ローン事業の概況(アコム)	8		
7. 信用保証事業の概況(アコム、エム・ユー信用保証)	9		
8. 信用保証事業の概況(アコム)	10		
9. 海外金融事業のターゲット市場	11		
10. 海外金融事業の概況(EASY BUY(EB)、Bank BNP(BNP))	12		
11. 利息返還請求件数の推移(アコム)	13		
12. 利息返還損失の推移(アコム)	14		

参考情報

17. 【参考】セグメント利益の概況	19
18. 【参考】セグメント利益の概況 (利息返還引当金繰入および貸倒引当金の見積り変更を除く)	20
19. 【参考】中期経営計画(2017/3-2019/3)	21
20. 【参考】中期経営計画数値目標(2017/3-2019/3)	22



経営環境

マクロ環境

<日本>

- 政府による経済政策、成長戦略実行などにより企業収益、雇用環境の改善等、日本経済全体で緩やかな回復の兆し
- 海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などによる、日本経済の景気減速懸念

<タイ王国>

- 中国経済の減速、先進国の景気回復遅れ等による影響を受けたものの、GDP成長率は緩やかに成長
- 政府による公共投資や観光分野の回復により経済回復の兆し

<インドネシア共和国>

- 中国をはじめとする世界的な景気減速も経済は回復基調
- 中央銀行は政策金利を引き下げ

市場・競争環境

<日本>

- ローン事業においては、バンク業態、ノンバンク業態問わず垣根を越えた競争構造に変化
- 個人向けカードローン市場は順調に拡大
- 信用保証事業においては、市場拡大と寡占化が進行
- 利息返還請求問題など、引き続き厳しい経営環境

<タイ王国>

- 家計債務問題により一部金融機関は融資に慎重姿勢
- パーソナルローン市場は、成長減速も安定成長

<インドネシア共和国>

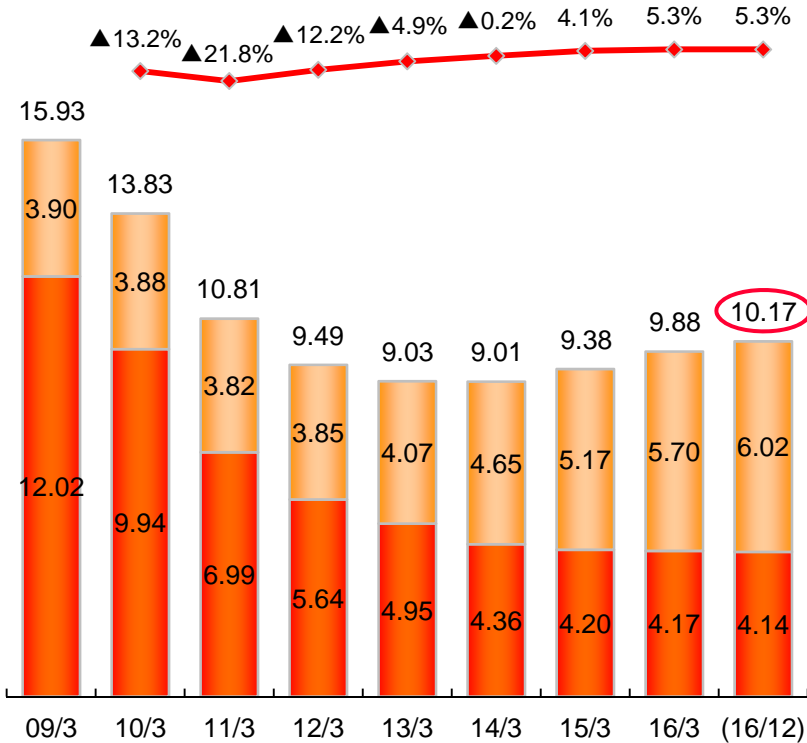
- 銀行貸出市場は、順調に拡大
- 銀行の不良債権は増加傾向、債権内容の悪化懸念



個人向けカードローン市場の規模推移

個人向けカードローン市場

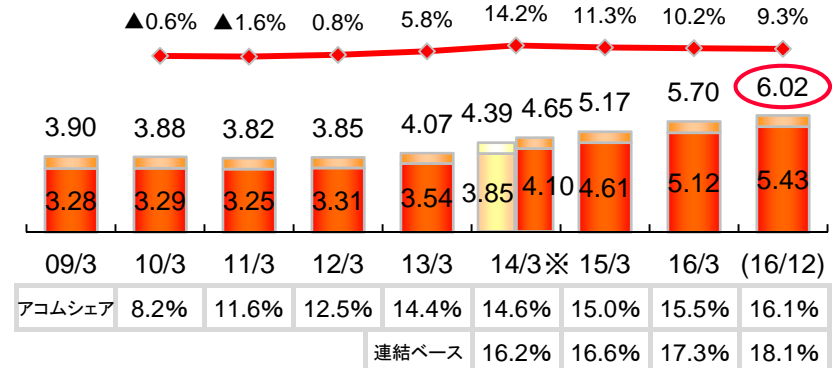
■ ノンバンク業態 ■ バンク業態 ◆ yoy (兆円)



アコムシェア	10.3%	12.4%	13.5%	14.4%	15.6%	16.2%	16.7%	17.2%
連結ベース		16.4%	17.1%	17.8%	18.4%			

バンク業態

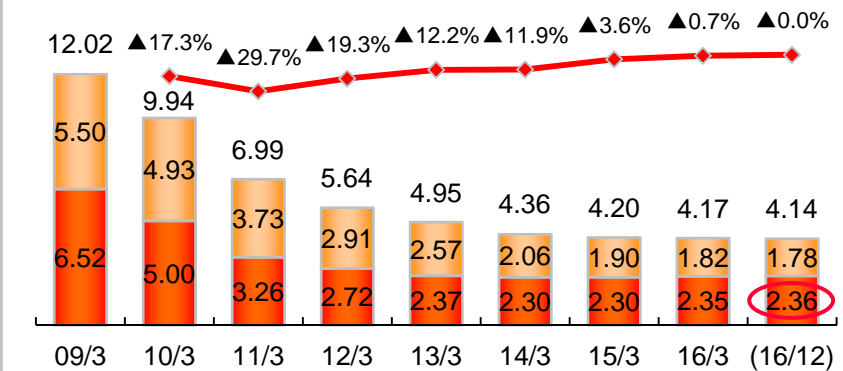
■ 国内銀行 ■ 信用金庫 ◆ yoy (兆円)



アコムシェア	8.2%	11.6%	12.5%	14.4%	14.6%	15.0%	15.5%	16.1%
連結ベース		16.2%	16.6%	17.3%	18.1%			

ノンバンク業態

■ 消費者金融業態 ■ クレジット業態など ◆ yoy (兆円)



アコムシェア	11.1%	12.9%	14.2%	14.5%	16.6%	17.8%	18.4%	18.8%
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※ ノンバンク業態とは、日本貸金業協会統計の営業貸付金残高(証書貸付を含む)、日本貸金業協会統計の2016年12月数値は速報値
 ※ バンク業態とは、日本銀行統計の国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高
 (14/3のバンク市場残高は、2015年8月10日に日本銀行統計が訂正され0.26兆円増加)
 ※ 本資料内の“yoy”は前期比



決算概要

(単位:百万円、%)

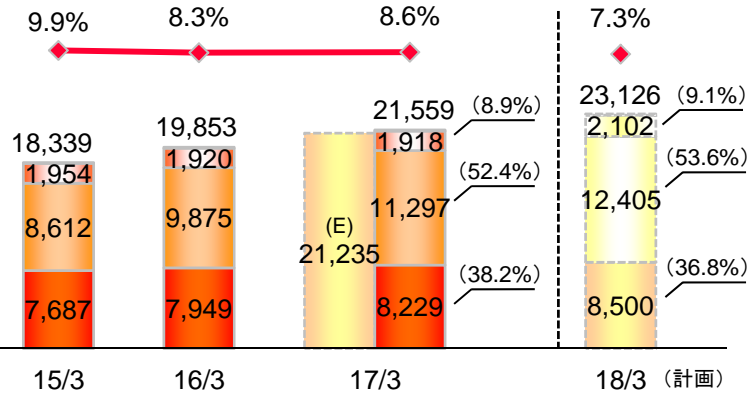
	連結					単体				
	2016/3		2017/3			2016/3		2017/3		
	実績	yoy	実績	yoy	達成率	実績	yoy	実績	yoy	達成率
営業債権残高	1,985,336	8.3	2,155,920	8.6	101.5	1,680,752	8.8	1,827,945	8.8	101.7
ローン・クレジットカード事業	794,982	3.4	822,916	3.5	100.3	794,982	3.4	822,916	3.5	100.3
信用保証事業	987,508	14.7	1,129,773	14.4	103.3	885,770	14.1	1,005,029	13.5	102.9
海外金融事業	192,068	-1.7	191,845	-0.1	96.6	-	-	-	-	-
<業績>										
営業収益	237,683	8.4	245,148	3.1	101.2	175,380	7.2	183,997	4.9	101.7
ローン・クレジットカード事業	133,170	3.5	135,971	2.1	101.0	133,170	3.5	135,971	2.1	101.0
信用保証事業	48,868	19.2	56,411	15.4	103.9	41,500	19.8	47,842	15.3	103.6
海外金融事業	48,275	12.4	45,606	-5.5	97.4	-	-	-	-	-
営業費用	222,166	8.3	315,315	41.9	177.6	174,352	7.3	269,388	54.5	207.9
金融費用	17,313	-11.2	13,524	-21.9	83.5	8,299	-17.7	7,153	-13.8	86.2
貸倒関連費用	60,040	11.5	68,538	14.2	100.6	43,780	8.3	51,786	18.3	100.2
利息返還費用	56,638	13.6	143,728	153.8	-	56,638	13.6	143,728	153.8	-
その他の営業費用	88,175	7.5	89,524	1.5	96.1	65,405	5.3	66,720	2.0	95.9
営業利益	15,516	10.3	-70,166	-	-	1,028	-9.1	-85,390	-	-
経常利益	16,200	9.9	-69,543	-	-	5,171	24.3	-84,054	-	-
税金等調整前当期純利益	14,985	-2.7	-69,497	-	-	3,876	-19.5	-83,986	-	-
当期純利益	17,935	13.2	-69,118	-	-	9,857	5.8	-79,289	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	14,598	13.5	-72,187	-	-	-	-	-	-	-



セグメント別構成比

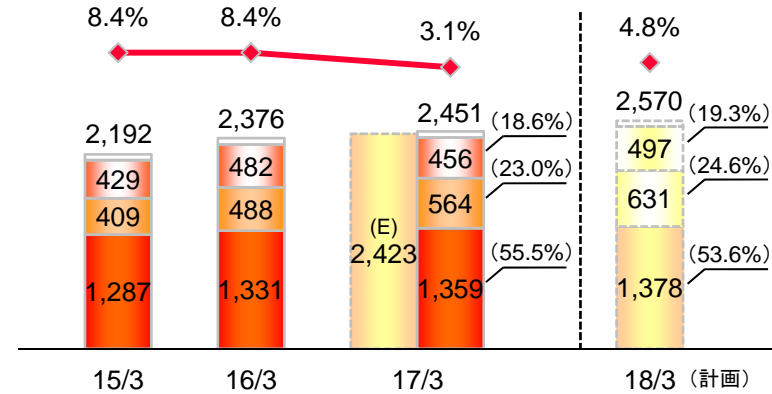
営業債権残高

■ L.C事業(※) ■ 信用保証事業 ■ 海外金融事業 □ その他
◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)



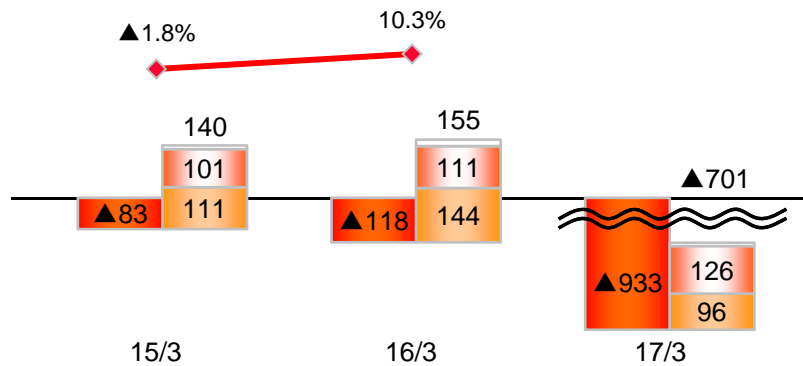
営業収益

■ L.C事業 ■ 信用保証事業 ■ 海外金融事業 □ その他
◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)

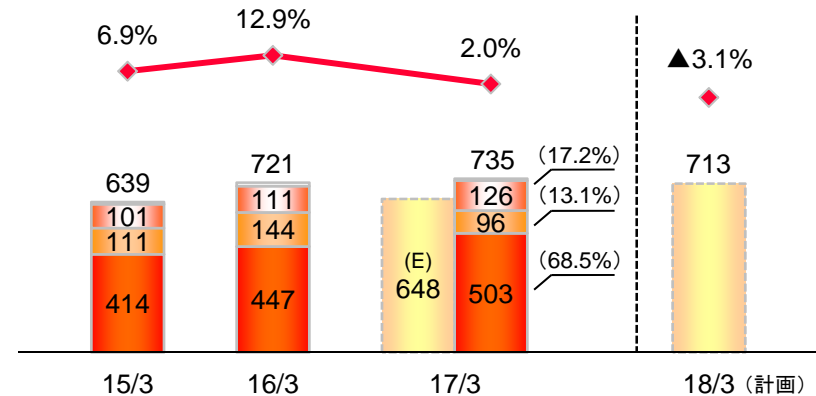


営業利益

■ L.C事業 ■ 信用保証事業 ■ 海外金融事業 □ その他 ◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)



<参考> 利息返還費用を除く営業利益



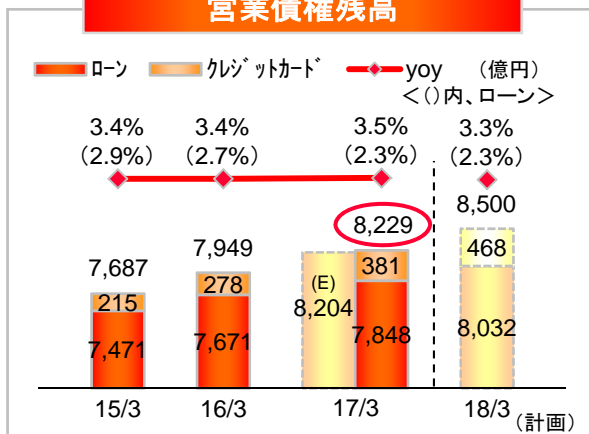
※ L.C事業とは、ローン・クレジットカード事業



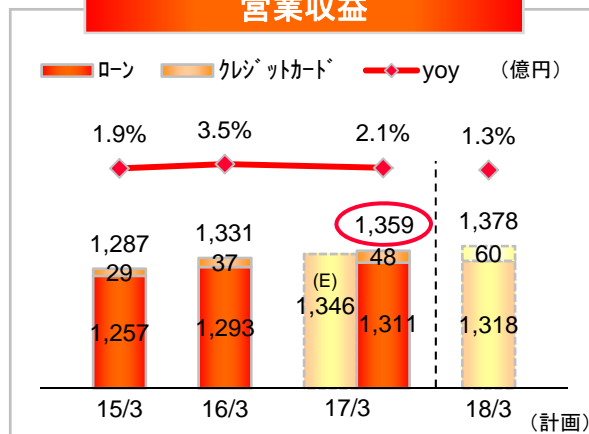
ローン・クレジットカード事業の概況(アコム)

- 営業債権残高：前期比3.5%増加の8,229億円で計画達成
- 営業収益：同2.1%増加の1,359億円で計画達成
- 営業利益：933億円の赤字も、利息返還費用を除くと、同12.4%増益の503億円

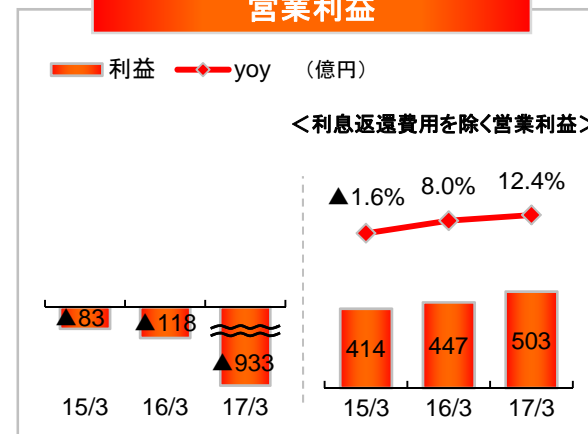
営業債権残高



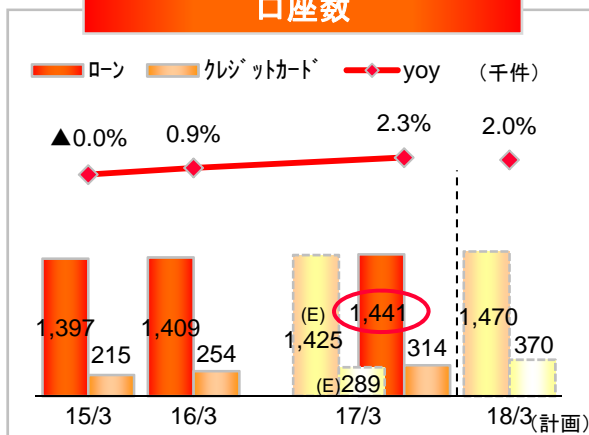
営業収益



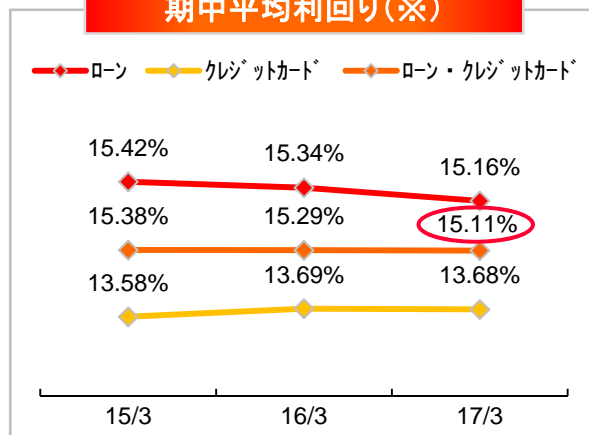
営業利益



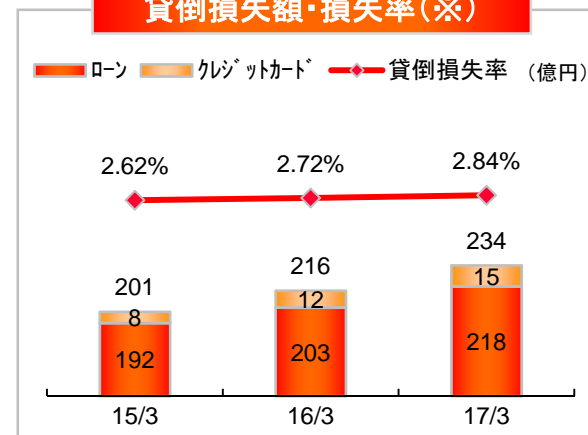
口座数



期中平均利回り(※)



貸倒損失額・損失率(※)



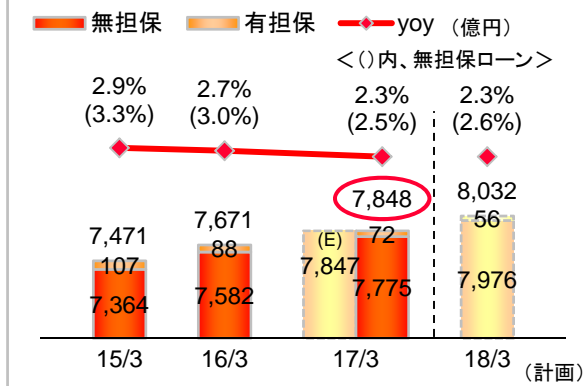
※ クレジットカードにおける利回りは、リボルビングにおける残高と手数料より算出
 ※ 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く



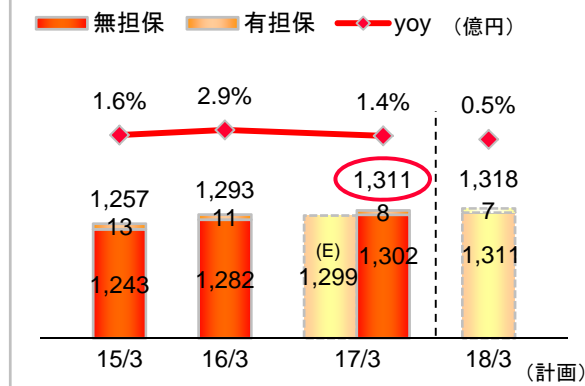
ローン事業の概況(アコム)

- 営業貸付金残高：前期比2.3%増加の7,848億円で計画達成
- 営業収益：同1.4%増加の1,311億円で計画達成
- 新客数：同5.9%増加の234千件で計画達成

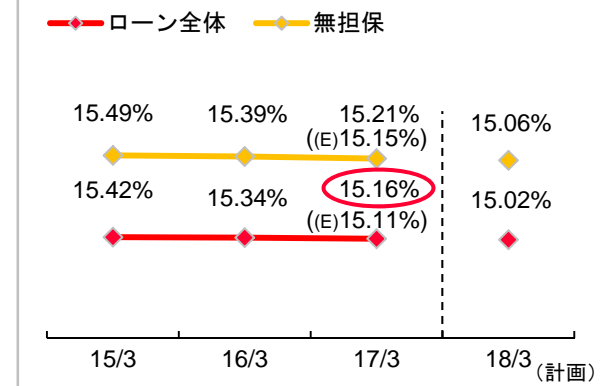
営業貸付金残高



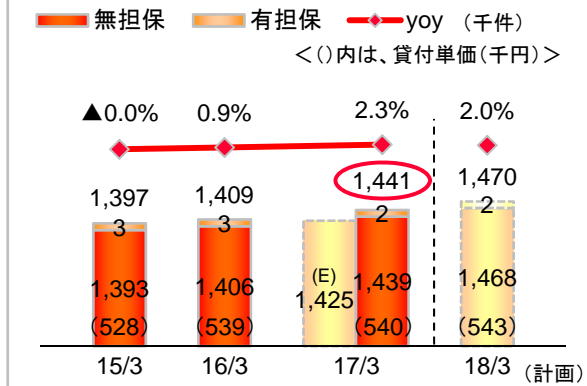
営業収益



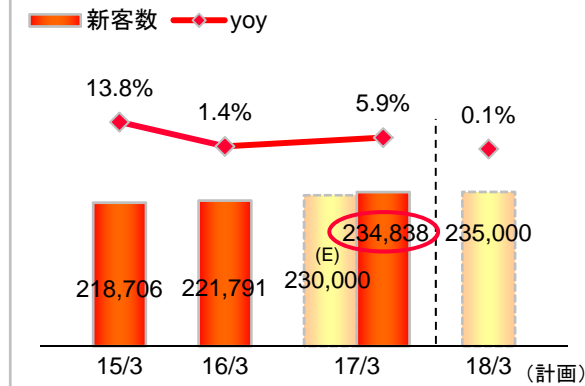
期中平均利回り



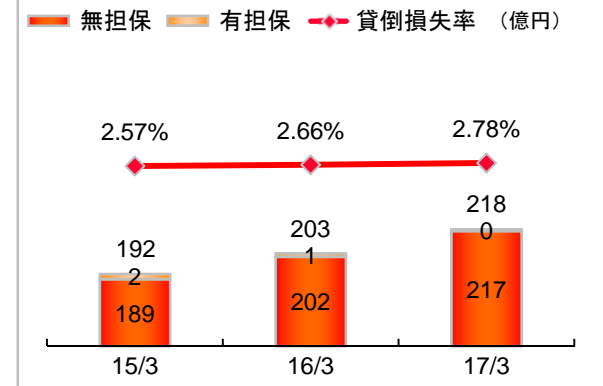
口座数



新客数(無担保)



貸倒損失額・損失率(※)



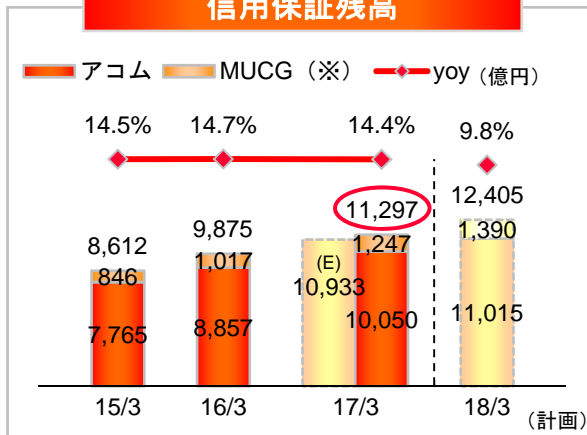
※ 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く



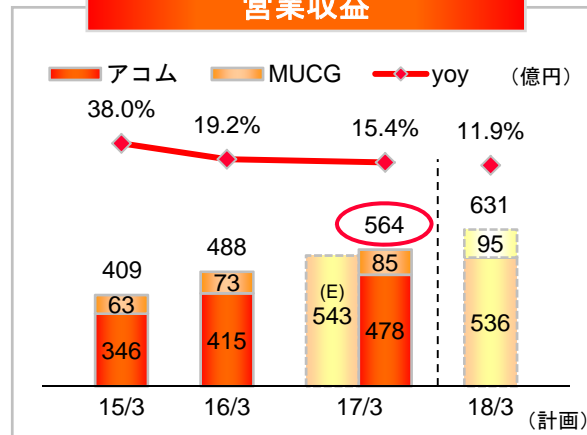
信用保証事業の概況(アコム、エム・ユー信用保証)

- 信用保証残高：前期比14.4%増加の11,297億円で計画達成
- 営業収益：同15.4%増加の564億円で計画達成
- 営業利益：引当金の精緻化により、同33.5%減益の96億円

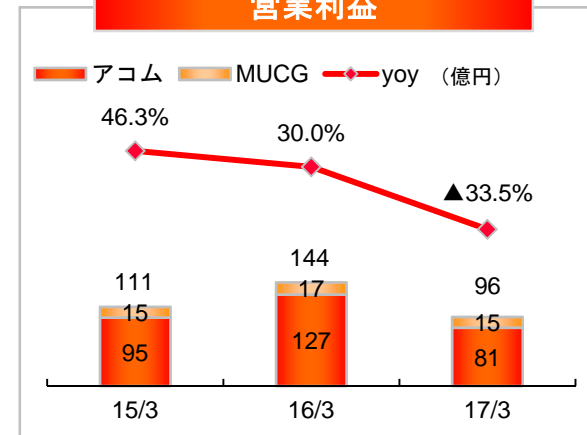
信用保証残高



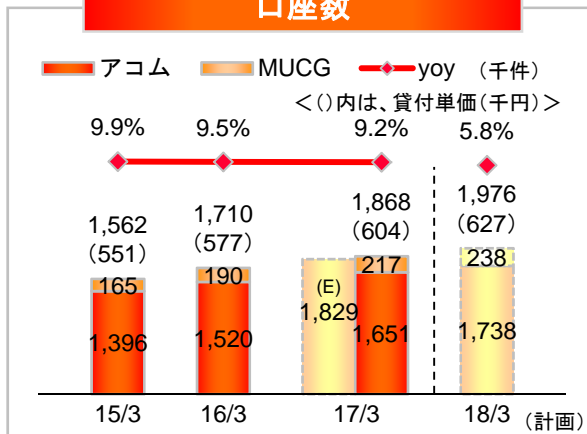
営業収益



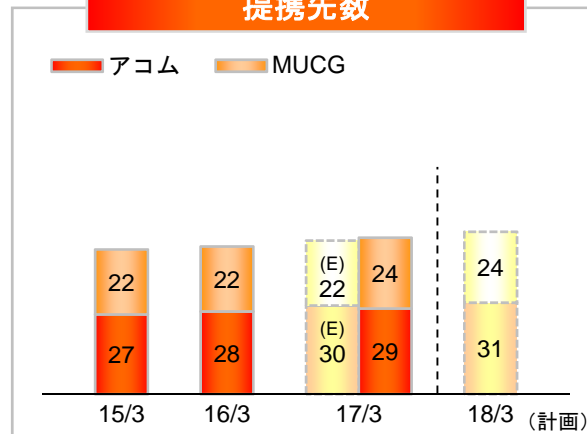
営業利益



口座数



提携先数



提携カバーエリア

全国47都道府県中
39都道府県をカバー



※ MUCGとは、エム・ユー信用保証株式会社

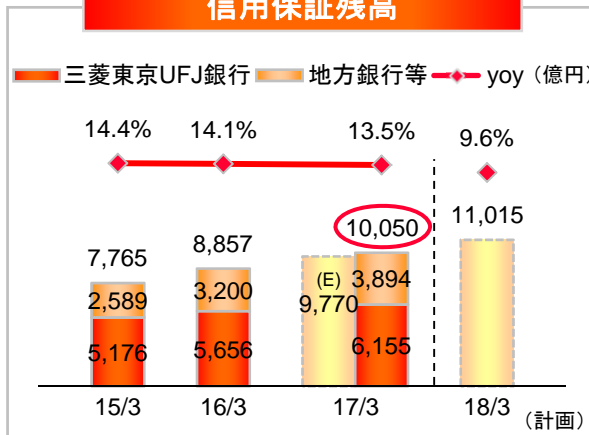
※ エム・ユー信用保証株式会社は、2014年3月より当社と三菱東京UFJ銀行の合併会社(当社出資比率:50.08%)として営業開始し、2015年12月に当社の完全子会社となりました



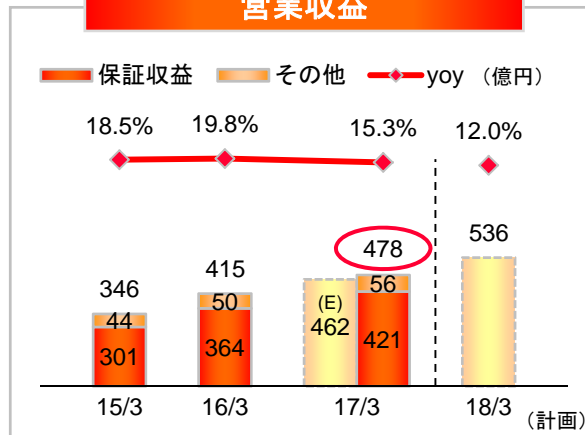
信用保証事業の概況(アコム)

- 信用保証残高：前期比13.5%増加の10,050億円で計画達成
- 営業収益：同15.3%増加の478億円で計画達成
- 営業利益：引当金の精緻化により、同36.2%減益の81億円

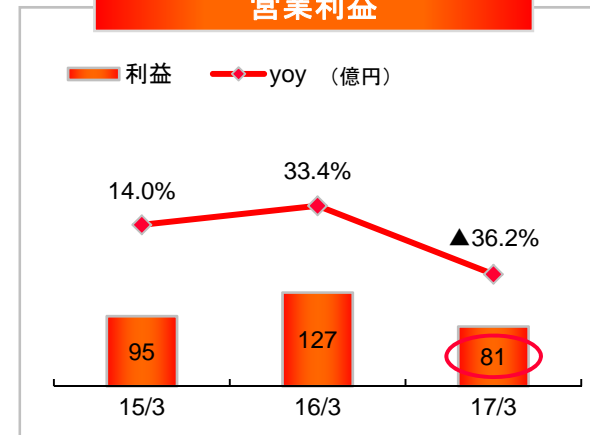
信用保証残高



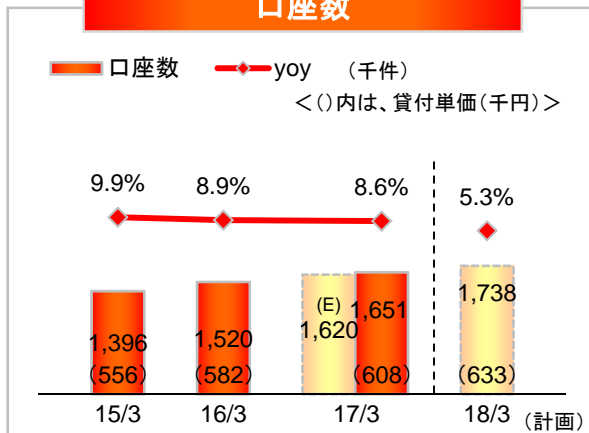
営業収益



営業利益



口座数



貸倒損失額・損失率



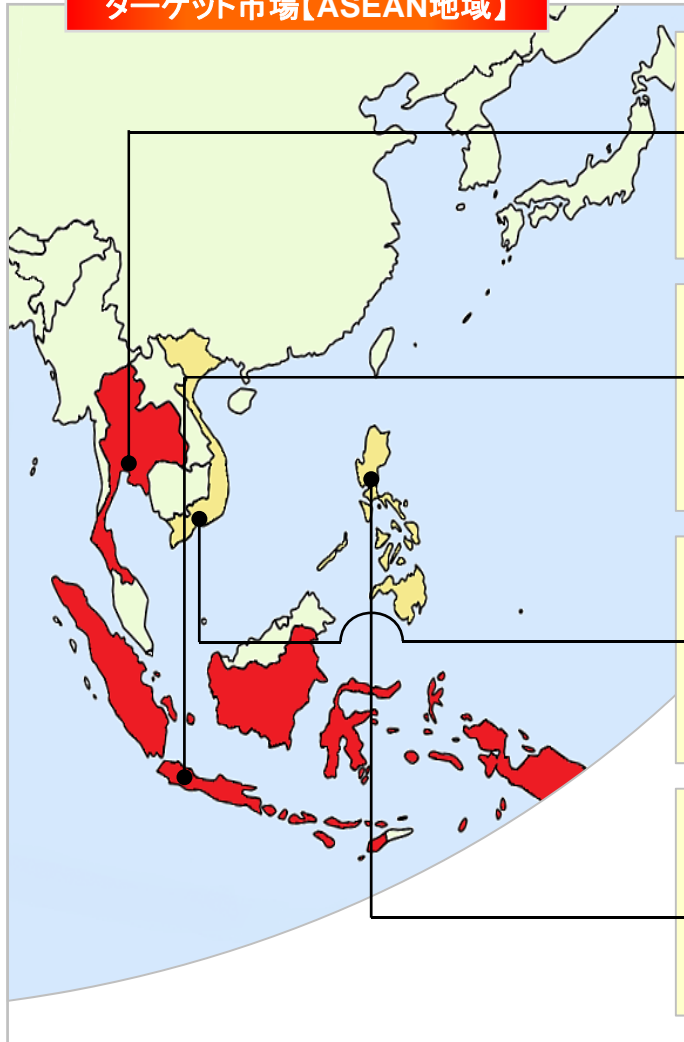
今期ピックアップ

- 新規保証業務提携
 - 琉球銀行 (8月1日)
 - 提携先向け「Web完結システム」を導入
 - 北海道銀行 (6月20日)
 - 群馬銀行 (6月20日)
 - 足利銀行 (6月20日)
 - 十六銀行 (10月3日)
 - 八十二銀行 (11月1日)
 - 大分銀行 (11月14日)
 - 中京銀行 (12月5日)
- 2017年4月25日
山梨中央銀行 保証業務提携開始



海外金融事業のターゲット市場

ターゲット市場【ASEAN地域】



【タイ王国】

【EASY BUY Public Company Limited】

出資比率：71.00%

事業開始：1996年

事業内容：無担保ローン事業、
インスツールメントローン事業

- 債権健全化を経営の最重要課題に置きながら、積極的に営業を展開
- 業容拡大にともない、増収増益

【インドネシア共和国】

【PT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk.】

出資比率：66.15%

事業開始：1972年（2007年子会社化）

事業内容：銀行業

- 債権内容の健全性維持向上、内部管理体制を強化
- 一部の貸出抑制により、減収減益

【ベトナム社会主義共和国】

【ACOM VIETNAM FINANCE COMPANY LIMITED】

所在地：ホーチミン

資本金：6,000億ドン（約30億円）

株主：アコム（100%）

- 2014年5月にライセンスを申請
- 2016年6月にライセンスを再申請
- 審査終了後、速やかに事業開始予定

【フィリピン共和国】

【ACOM CONSUMER FINANCE CORPORATION】

所在地：パシッグ市

資本金：5億ペソ（約12億円）

株主：アコム80%、伊藤忠商事20%

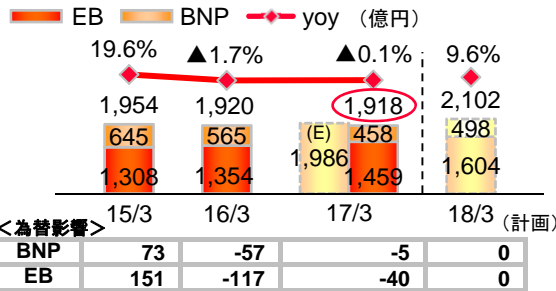
- 事業内容：個人向け融資事業
（証書貸付、リボルビングローン）
- 事業展開エリア：メトロマニラ圏
- 合併会社設立日：2017年9月（予定）
- 事業開始日：2018年7月（予定）



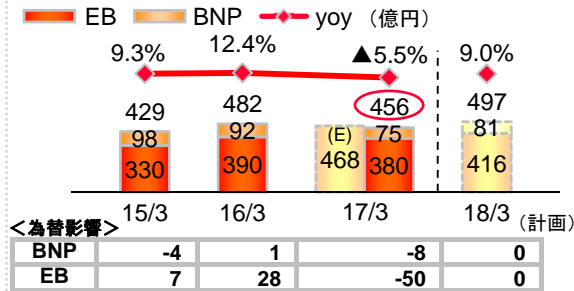
海外金融事業の概況 (EASY BUY (EB)、Bank BNP (BNP))

海外金融事業【円ベース】

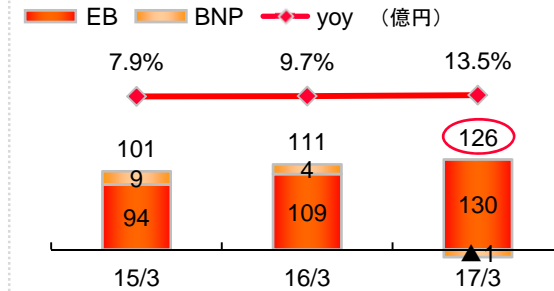
営業債権残高※1



営業収益

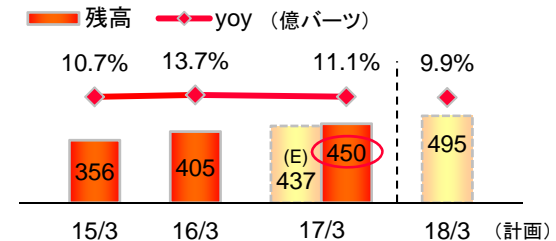


営業利益

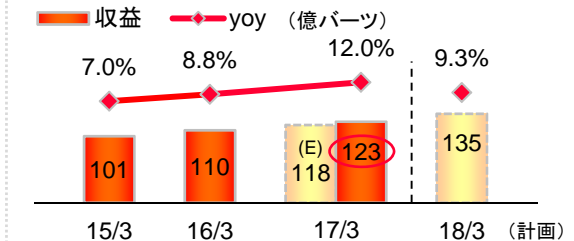


EASY BUY【現地通貨ベース】

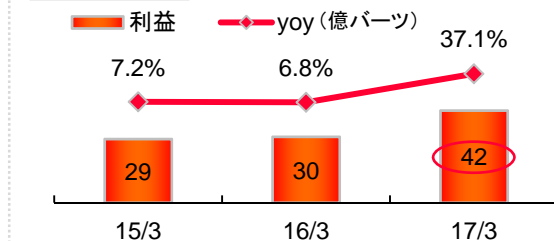
営業債権残高※2



営業収益

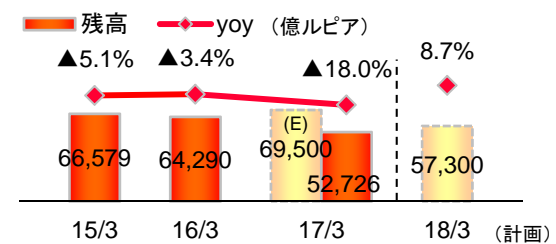


営業利益

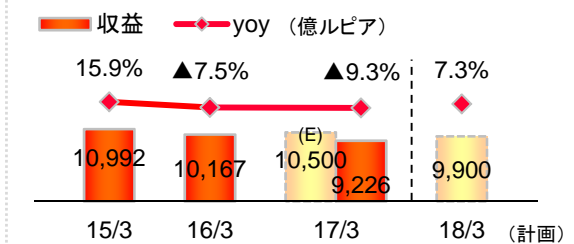


Bank BNP【現地通貨ベース】

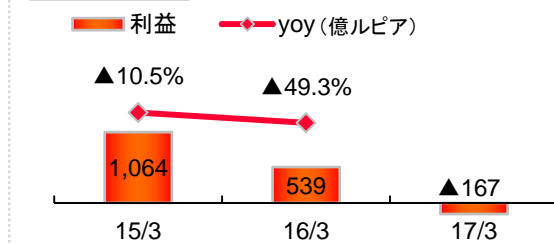
貸出金残高



営業収益



営業利益



※1. 営業債権残高 = 営業貸付金残高 + 割賦売掛金残高 + 銀行業貸出金残高 ※2. 営業債権残高 = 営業貸付金残高 + 割賦売掛金残高 ※営業利益はセグメント利益を掲載
 ※ 為替レート: パーツ B/S: 3.67円 (14/12), 3.34円 (15/12), 3.24円 (16/12), 計画 3.24円 (17/12) P/L: 3.26円 (14/12), 3.54円 (15/12), 3.08円 (16/12), 計画 3.08円 (17/12)
 (現地決算日) ルピア B/S: 0.0097円 (14/12), 0.0088円 (15/12), 0.0087円 (16/12), 計画 0.0087円 (17/12) P/L: 0.0090円 (14/12), 0.0091円 (15/12), 0.0082円 (16/12), 計画 0.0082円 (17/12)
 ※ 第4四半期為替変動: パーツ (B/S yoy ▲0.1円 P/L yoy ▲0.46円)、ルピア (B/S yoy ▲0.0001円 P/L yoy ▲0.0009円)



利息返還請求件数の推移(アコム)

- 請求件数 : 前期比▲15.9%の60,700件と期初予想を上回って着地
- 要因 : 一部の特定事務所からの請求が高水準で推移

●利息返還請求件数(※)

(単位:件、%)

	2012/3		2013/3		2014/3		2015/3		2016/3			2017/3		
	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	1営業日 当たり	利息返還 請求件数	yoy	1営業日 当たり
合計	90,500	-36.5	73,500	-18.8	69,900	-4.9	79,600	13.9	72,200	-9.3	295	60,700	-15.9	248
4月	10,100	-9.0	6,400	-36.6	6,700	4.7	6,500	-3.0	6,500	0.0	309	5,500	-15.4	275
5月	8,900	-7.3	7,000	-21.3	6,200	-11.4	6,200	0.0	5,500	-11.3	-4.7	5,600	1.8	294
6月	9,500	-12.0	6,600	-30.5	5,600	-15.2	6,600	17.9	6,400	-3.0	290	5,800	-9.4	263
7月	7,300	-24.0	6,600	-9.6	6,100	-7.6	7,100	16.4	6,100	-14.1	277	4,900	-19.7	245
8月	7,500	-11.8	5,500	-26.7	4,600	-16.4	5,900	28.3	5,300	-10.2	-13.5	4,700	-11.3	213
9月	7,400	-22.1	5,800	-21.6	5,900	1.7	7,800	32.2	6,600	-15.4	347	4,800	-27.3	240
10月	7,300	-47.1	6,600	-9.6	6,400	-3.0	7,500	17.2	6,700	-10.7	319	4,600	-31.3	230
11月	7,100	-45.0	5,900	-16.9	5,600	-5.1	6,000	7.1	6,000	0.0	-6.6	4,900	-18.3	245
12月	6,200	-52.7	5,000	-19.4	5,500	10.0	6,300	14.5	5,800	-7.9	290	5,200	-10.3	260
1月	5,000	-60.0	5,000	0.0	5,000	0.0	4,900	-2.0	4,700	-4.1	247	4,500	-4.3	236
2月	7,200	-56.4	6,300	-12.5	5,900	-6.3	6,900	16.9	6,200	-10.1	-12.2	5,200	-16.1	260
3月	7,000	-52.4	6,800	-2.9	6,400	-5.9	7,900	23.4	6,400	-19.0	290	5,000	-21.9	227

※ 利息返還請求件数: 弁護士・司法書士受任債権発生件数の内、当社が利息制限法に基づいて再計算した結果、利息返還金が発生する件数

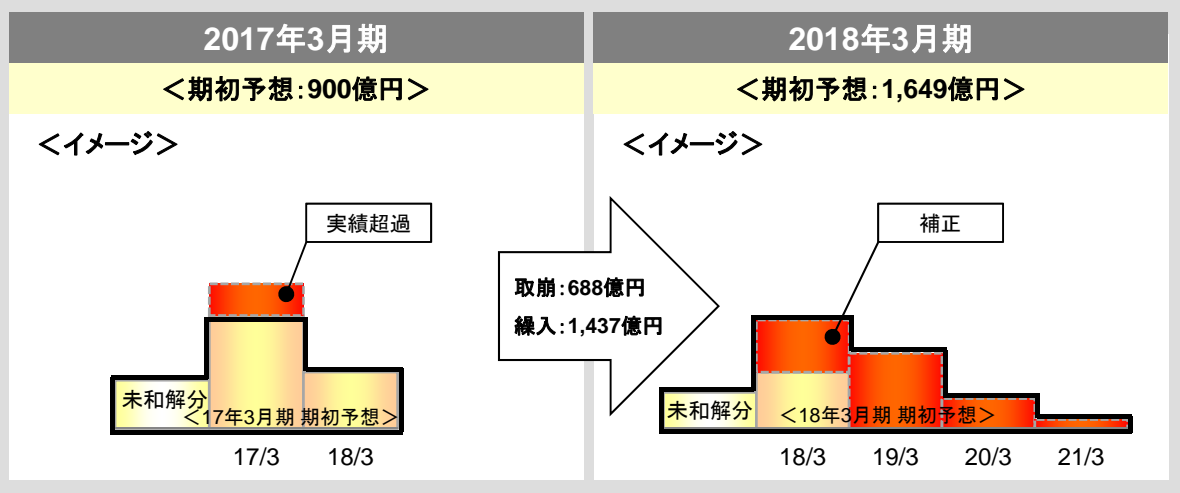


利息返還損失の推移(アコム)

●利息返還損失引当金

(単位:百万円、%)

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	yoy
取崩額	131,907	92,168	72,393	71,359	69,238	68,828	-0.6
利息返還金	93,952	70,502	58,461	58,803	57,600	58,852	2.2
<参考> 利息返還金(キャッシュアウト)	89,102	74,005	57,592	59,183	57,147	58,917	3.1
貸倒損失(債権放棄)	37,954	21,666	13,932	12,556	11,637	9,975	-14.3
繰入額	48,807	42,968	45,493	49,859	56,638	143,728	153.8
引当金増減額	-83,100	-49,200	-26,900	-21,500	-12,600	74,900	-
期末引当金残高	200,200	151,000	124,100	102,600	90,000	164,900	83.2



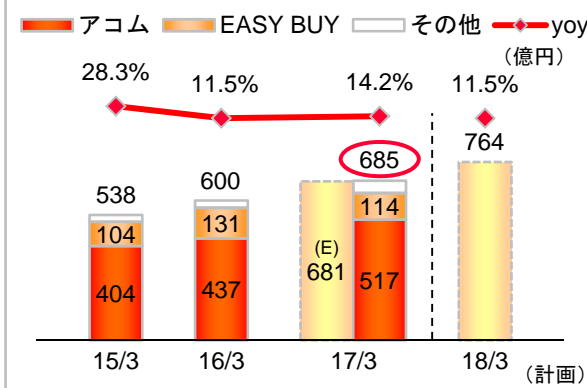
- ### 利息返還損失引当金のポイント
- ①前期末残高900億円から688億円を取崩し
 ・利息返還金588億円+債権放棄99億円
 - ②2017年3月期に1,437億円を追加繰入
 ・第3四半期:144億円+第4四半期:1,293億円
 ・期初予想の超過状況と足元の分析を踏まえ
 期初予想を補正、将来発生予想額を算出
 - ③期末引当金残高は1,649億円(将来4年分)



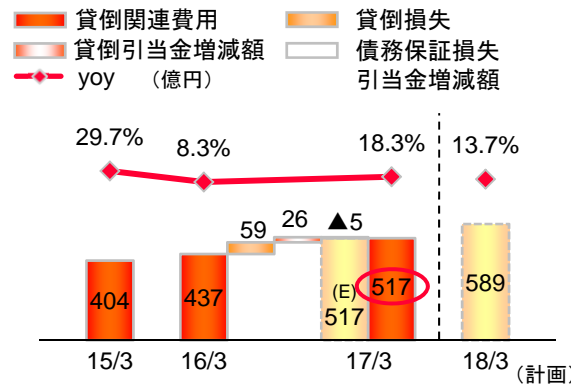
貸倒関連費用

- 貸倒関連費用(連結): 中核3事業の業容拡大を主因に前期比14.2%増加の685億円
- 貸倒損失額(アコム): ローン事業、信用保証事業共に業容拡大を主因に増加
- 不良債権(アコム): ローン事業は、不良債権比率7.13%と安定推移

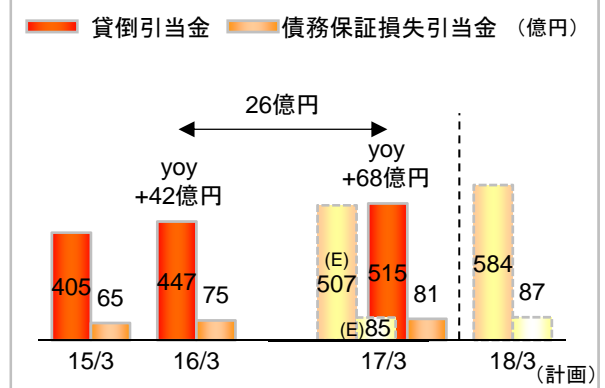
貸倒関連費用(連結)



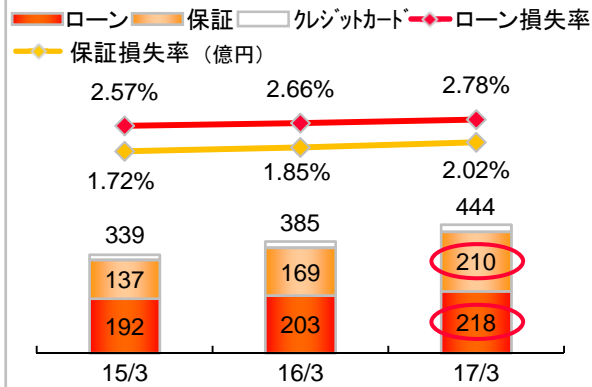
貸倒関連費用(アコム)



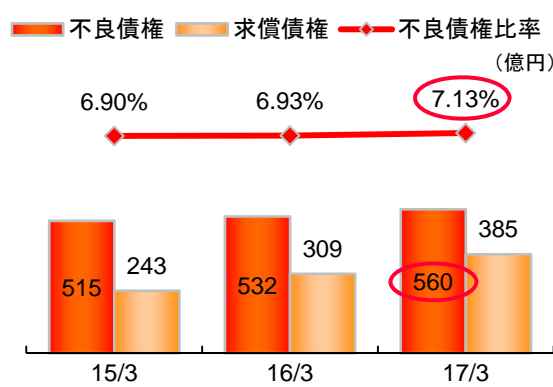
貸倒・債務保証損失引当金(アコム)



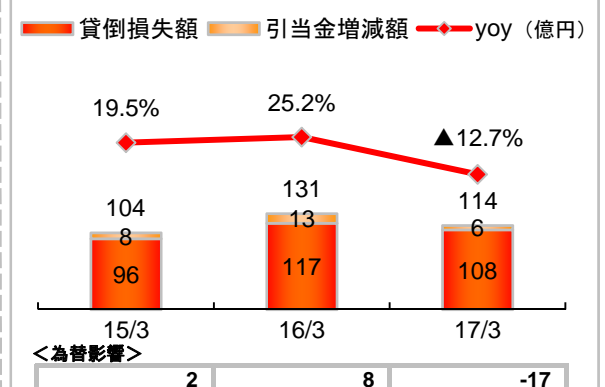
貸倒損失額(アコム)(※)



不良債権・求償債権(アコム)(※)



<参考> 貸倒関連費用[EASY BUY]



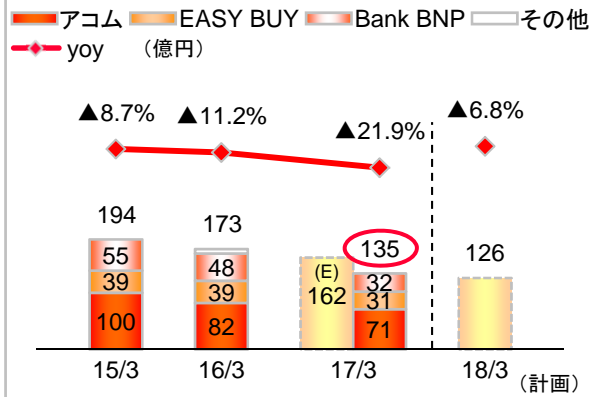
※ 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く
 ※ 求償債権とは、保証履行未償却債権残高



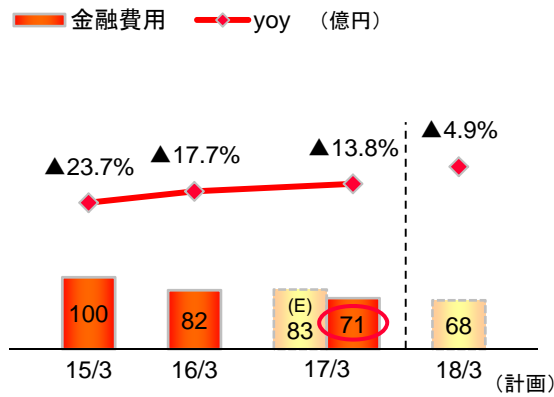
金融費用

- 金融費用(連結)：アコム、EASY BUYの調達環境改善に、円高の為替影響が加わり、前期比21.9%減少の135億円
- 資金調達残高(アコム)：同10.0%増加の6,095億円
- 期中平均調達金利(アコム)：調達環境が改善する中、借入の入替が進み、同21bps低下の1.27%

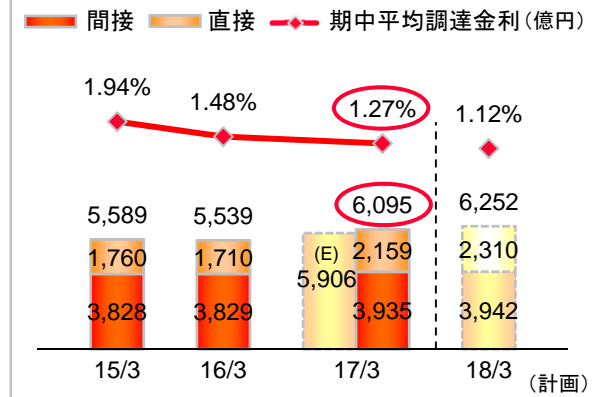
金融費用(連結)



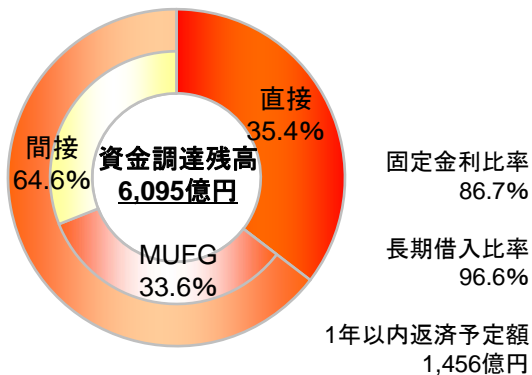
金融費用(アコム)



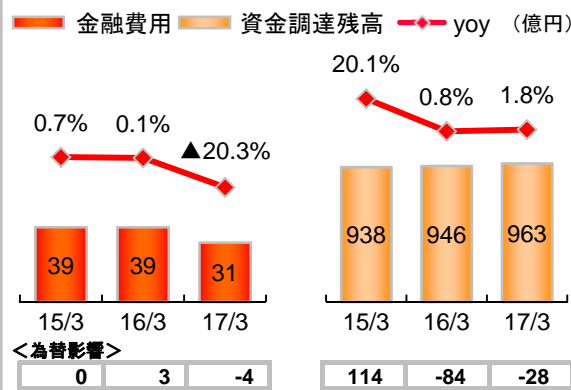
資金調達残高(アコム)



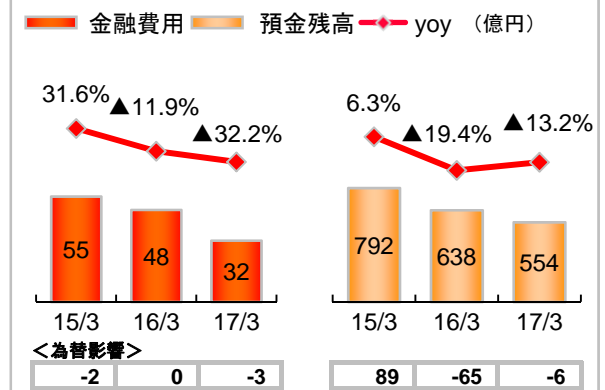
借入先別構成比(アコム)



<参考> EASY BUY



<参考> Bank BNP





2018年3月期 通期計画

(単位:百万円、%)

	連結				単体			
	2017/3		2018/3		2017/3		2018/3	
	実績	yoy	計画	yoy	実績	yoy	計画	yoy
営業債権残高	2,155,920	8.6	2,312,600	7.3	1,827,945	8.8	1,951,500	6.8
ローン・クレジットカード事業	822,916	3.5	850,000	3.3	822,916	3.5	850,000	3.3
信用保証事業	1,129,773	14.4	1,240,500	9.8	1,005,029	13.5	1,101,500	9.6
海外金融事業	191,845	-0.1	210,200	9.6	-	-	-	-
<業績>								
営業収益	245,148	3.1	257,000	4.8	183,997	4.9	191,600	4.1
ローン・クレジットカード事業	135,971	2.1	137,800	1.3	135,971	2.1	137,800	1.3
信用保証事業	56,411	15.4	63,100	11.9	47,842	15.3	53,600	12.0
海外金融事業	45,606	-5.5	49,700	9.0	-	-	-	-
営業費用	315,315	41.9	185,700	-41.1	269,388	54.5	137,400	-49.0
金融費用	13,524	-21.9	12,600	-6.8	7,153	-13.8	6,800	-4.9
貸倒関連費用	68,538	14.2	76,400	11.5	51,786	18.3	58,900	13.7
利息返還費用	143,728	153.8	-	-	143,728	153.8	-	-
その他の営業費用	89,524	1.5	96,700	8.0	66,720	2.0	71,700	7.5
営業利益	-70,166	-	71,300	-	-85,390	-	54,200	-
経常利益	-69,543	-	71,800	-	-84,054	-	57,600	-
税金等調整前当期純利益	-69,497	-	71,700	-	-83,986	-	57,500	-
当期純利益	-69,118	-	67,500	-	-79,289	-	58,100	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-72,187	-	64,200	-	-	-	-	-



配当方針、配当予想

利益配分に関する基本方針

- 業績、自己資本ならびに当社を取り巻く経営環境を勘案の上、安定的、継続的な利益還元を図り、株主還元の充実を目指す

配当予想

- 2017年3月期 期末配当 … 「無配(※)」
- 2018年3月期 中間配当 … 「無配(予想)」
- 2018年3月期 期末配当 … 「未定」

復配の条件

<従前の復配条件>

- 「中核3事業の継続的な安定成長」と合わせ、「利息返還請求動向の先行き懸念が解消」された時点で速やかに復配する。

<足許の状況(2017年3月期第4四半期)>

- 中核3事業は安定的に成長している。
- 利息返還請求は当初予想を大きく上回る水準で推移している。
- 引当金の追加繰入れにより自己資本は大きく毀損したものの、更なる毀損リスクは軽減された。

<復配条件>

- 経営の安定性・安全性の観点より、自己資本の拡充が最優先課題であり、自己資本比率を注視しつつ、利息返還請求の発生予想額と実績額の乖離幅を検証し先行き懸念が解消された時点で速やかに復配する。

※ 2017年3月期の期末配当は、2017年6月開催予定の定時株主総会において承認されることが前提



【参考】セグメント利益の概況

● 営業収益及びセグメント利益

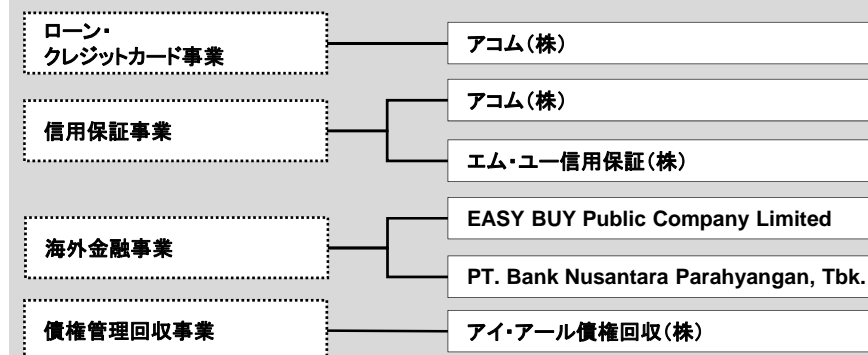
(単位:百万円、%)

	ローン・クレジットカード事業		信用保証事業		海外金融事業		債権管理回収事業		計		その他	合計
		yoy		yoy		yoy		yoy		yoy		
営業収益	135,971	2.1	56,411	15.4	45,618	-5.5	7,159	8.8	245,160	3.5	184	245,344
外部顧客からの営業収益	135,971	2.1	56,411	15.4	45,606	-5.5	7,159	8.8	245,147	3.5	0	245,148
セグメント間の内部営業収益又は振替高	-	-	-	-	12	-33.0	-	-	12	-33.0	183	196
営業費用	229,344	58.2	46,796	36.0	32,978	-11.2	6,615	20.1	315,734	42.2	0	315,734
セグメント利益	-93,373	-	9,614	-33.5	12,640	13.5	544	-49.2	-70,574	-	184	-70,389

● セグメント利益及び連結営業利益の差額

利益	金額	
		yoy
セグメント利益	-70,574	-
「その他」の区分の利益	184	-61.5
セグメント間取引消去	97	-37.5
親子会社間の会計処理統一等による調整額	125	164.4
連結営業利益	-70,166	-

<参考>





【参考】セグメント利益の概況(利息返還引当金繰入および貸倒引当金の見積り変更を除く)

● 営業収益及びセグメント利益

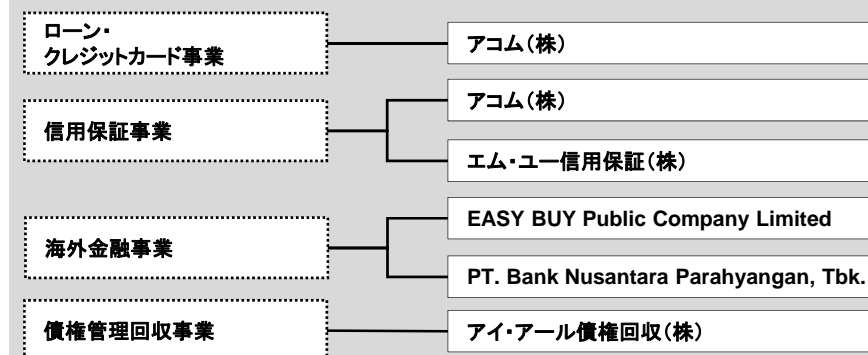
(単位:百万円、%)

	ローン・クレジットカード事業		信用保証事業		海外金融事業		債権管理回収事業		計		その他	合計
		yoy		yoy		yoy		yoy		yoy		
営業収益	135,971	2.1	56,411	15.4	45,618	-5.5	7,159	8.8	245,160	3.5	184	245,344
外部顧客からの営業収益	135,971	2.1	56,411	15.4	45,606	-5.5	7,159	8.8	245,147	3.5	0	245,148
セグメント間の内部営業収益又は振替高	-	-	-	-	12	-33.0	-	-	12	-33.0	183	196
営業費用	90,476	2.4	40,775	18.5	32,978	-11.2	6,615	20.1	170,845	3.3	0	170,845
セグメント利益	45,495	1.6	15,635	8.1	12,640	13.5	544	-49.2	74,314	4.0	184	74,499

● セグメント利益及び連結営業利益の差額

利益	金額	
		yoy
セグメント利益	74,314	4.0
「その他」の区分の利益	184	-61.5
セグメント間取引消去	97	-37.5
親子会社間の会計処理統一等による調整額	125	164.4
連結営業利益	74,722	3.6

<参考>





【参考】中期経営計画(2017/3 – 2019/3)

創業の精神	信頼の輪	
社名の由来	Affection (愛情) COnfidence (信頼) Moderation (節度)	
企業理念	アコムは人間尊重の精神とお客さま第一義に基づき 創造と革新の経営を通じて 楽しく豊かなパーソナルライフの実現と生活文化の向上に貢献する	
経営ビジョン	一人でも多くのお客さまに最高の満足を感じていただき 個人ローン市場において社会に信頼される「リーディングカンパニー」を目指す	
主たる事業ドメイン	国内	ローン・クレジットカード事業、信用保証事業
	海外	ASEAN地域におけるローン事業
中期経営方針	環境変化にスピード感をもって対応し お客さまの期待を超えるサービスを創出するとともに 持続的成長を支える磐石な経営基盤を確立する	

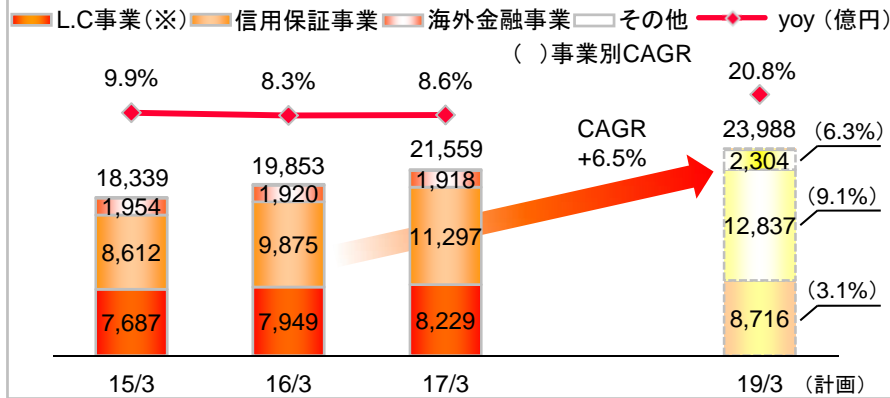
<中核3事業の取組施策>

中期重点課題		重点取組施策
① コンプライアンス重視の企業風土の深化	ローン・ クレジットカード事業	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 変化するWeb環境への迅速な対応 ➢ 新規拡大に向けた与信・プロモーションの強化 ➢ クレジットカード販売による収益の強化 ➢ チャンネル網の活用とあり方の検討 ➢ 既存顧客の継続率向上による規模拡大
② 人材基盤の強化・確立		
③ マーケティングの強化による新規集客力の向上	信用保証事業	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ローン事業のノウハウ活用による業容拡大 ➢ 保証審査の最適化と効率的なセンター運営 ➢ 空白地域における新規保証提携先の獲得 ➢ 商品性の充実と収益性の向上
④ 債権健全性を維持した持続的な残高・会員数拡大		
⑤ 信用保証事業における競争優位性の強化・確立		
⑥ 中核事業としての海外金融事業の基盤確立	海外金融事業	<ul style="list-style-type: none"> ➢ EASY BUY <ul style="list-style-type: none"> ・Umay+ブランドの更なる競争力強化 ・債権内容の健全性維持向上(債権ポートフォリオ・スコアリングモデル) ・次世代ITシステムの構築 ➢ Bank BNP <ul style="list-style-type: none"> ・無担保個人ローン事業の業容拡大 ・債権内容の健全性維持向上、内部管理態勢の強化 ➢ 新たな地域への進出と収益基盤の構築
⑦ グループ回収基盤の拡充		
⑧ コスト最適化の実現		
⑨ 進化するICTへの適応とシステム基盤の整備		

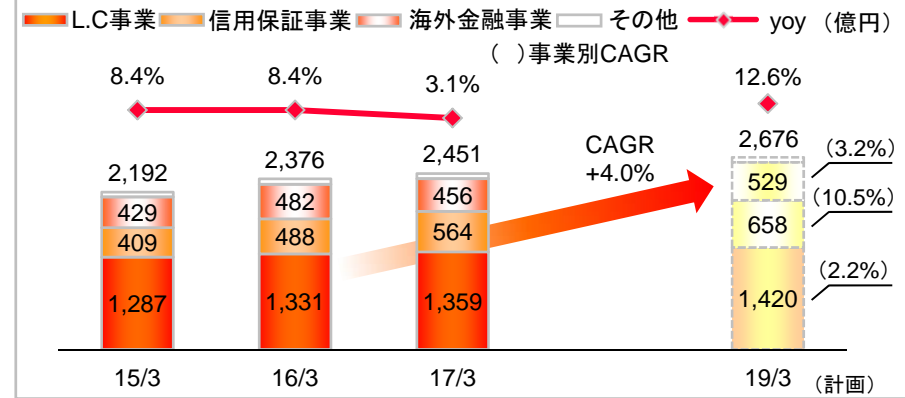


【参考】中期経営計画数値目標(2017/3 - 2019/3)

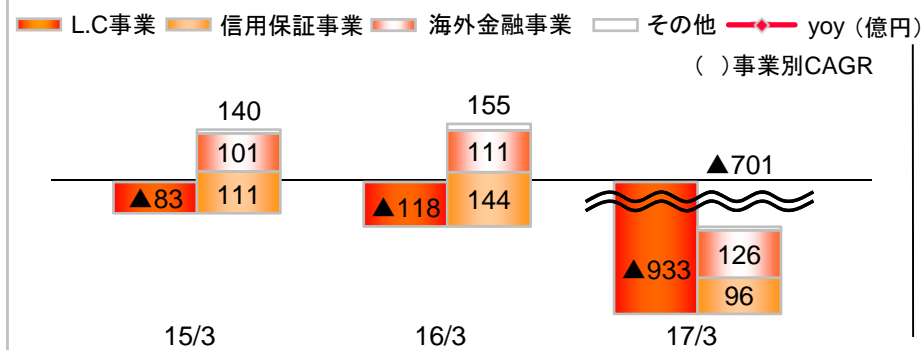
営業債権残高



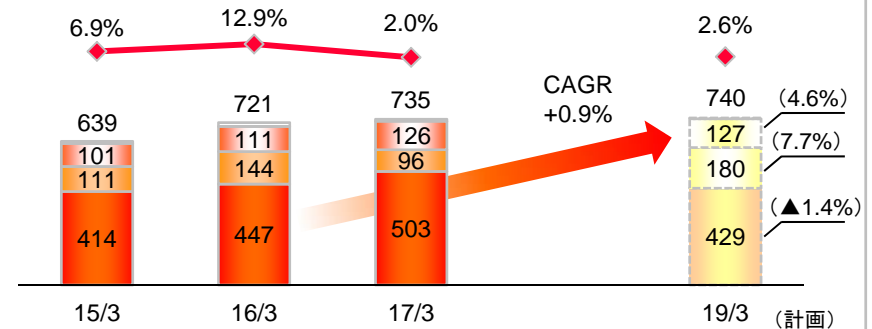
営業収益



営業利益



<参考>利息返還費用を除く営業利益



<目標とする経営指標【2019年3月期】>

連結ROEは12%以上、連結総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率は20%を目指す

<中計における資本政策・配当性向>

- 「連結自己資本比率」及び「連結総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率」の双方を注視し、内部留保の充実による経営の安定性強化を最優先。
- 「中核3事業の継続的な安定成長」と合わせ、「利息返還請求動向の先行き懸念が解消」された時点で、目標とする自己資本比率を見直し、積極的な戦略投資、配当性向等を決定し公表する。

※ L.C事業とは、ローン・クレジットカード事業

【前提条件】①海外金融事業の為替影響:全期間1パーツB/S3.19円 P/L3.20円、1ルピアB/S0.0085円 P/L0.0088円で試算

②ベトナム進出時期が不透明であることから、連結の業容・業績には織り込まず



本件照会先: 財務第二部 広報・IR室

電話番号 03(5533)0861

メールアドレス ir@acom.co.jp

免責事項

本資料の数値のうち、過去の事実以外のアコム株式会社の計画、方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点においてアコム株式会社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであって、現実の業績は、諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。

かかる潜在的なリスクや不確定要因として考えられるものとしては、例えば、アコム株式会社を取り巻く経済情勢や消費者金融を取り巻く市場規模の変化、債務不履行に陥る顧客の割合、「利息制限法」に基づく上限金利を超える部分の返還請求等の発生件数及び返還金額の変動、アコム株式会社が支払う借入金利率のレベル、法定制限利率が考えられますが、これらに限りません。